

アースサイエンスウィーク・ジャパン 2021 を開催しました (2021/10/30・31)

テーマ：地球科学、東日本大震災

会場：スリーエム仙台市科学館

URL：<http://www.earthsciweekjp.org/>、https://youtu.be/V_868ji3ttl

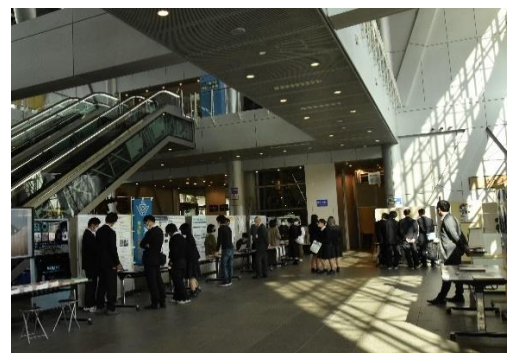
2021年10月30・31日、スリーエム仙台市科学館において、アースサイエンスウィーク・ジャパン実行委員会主催、公益社団法人日本地球惑星科学連合（JpGU）、仙台市科学館、東北大学災害科学国際研究所、ジオガシ旅行団の共催により、アースサイエンスウィーク・ジャパン 2021 のメインイベントを開催しました。このイベントは、子どもからシニアまで一般の方を対象に、日本の地質や最先端の地球惑星科学の研究、身近な防災や環境について分かりやすく展示・解説を行うとともに、研究発表や巡検などの学びの機会を提供するもので、日本では 2018 年から開催されています。今回、津波工学研究分野（菅原研究室）では、研究室メンバーのほとんどが参加してイベント運営にあたりました。

1 日目の 10 月 30 日（土）には「震災 10 年、東北から地球を見つめる」と題し、小平秀一氏（JAMSTEC／東北大）、平塚明氏（日本ビオトープ協会／岩手県立大）、平朝彦氏（東海大／JAMSTEC／東京大）を招いて、東日本大震災をテーマとする講演会を開催しました。講演会の最後には、今村文彦当研究所所長をモデレーターとしてパネルディスカッションを行いました。この講演会は Youtube でリアルタイム配信され、上記 URL にて視聴可能です。

この 2 日間、科学館のエントランスホールでは、多賀城高校を含む宮城県内の 5 つの高校、東北大学、東北学院大学、応用地質株式会社など合計 14 の企業・団体による事業や調査研究の紹介、体験講座などの出展が行われました。当研究所および津波工学研究分野では、調査研究活動の成果（津波堆積物の剥ぎ取り標本と東日本大震災の津波 CG）を紹介し、来場者への解説を行いました。



パネルディスカッションの様子



高校生発表の様子



講演会場の様子



対談の様子